

中学校における水泳の授業のあり方について

1. 主旨

近年、全国の公立中学校で水泳の実技授業を廃止する動きが広がりつつあります。

背景としては、プールの老朽化、管理コストの増大、水泳指導や水質管理に伴う教員の負担など、学校や施設管理側の事情だけでなく、熱中症への警戒、日焼けを避けたい、水着姿への抵抗感、体調不良など、生徒の体調面やジェンダーに対する配慮も廃止の理由とされています。

水泳の授業は、学習指導要領で小学校1年生から中学校2年生までは必修とされていますが、適切な水泳場の確保が困難な場合に限り、実技授業を廃止することができるとされています。実技授業の廃止後も、安全面の座学授業は必要になります。

江南市の学校プールにおいても、老朽化が進行しており、光熱水費や維持管理費以外にも今後、多額の改修費用が発生することが想定されます。また、暑さ指数(WBGT)により、水泳の授業が中止になることで利用回数が減少しており、費用対効果が低下しています。

水難事故を防ぐため、小学校においては、水に慣れることや泳ぐことの基礎を学ぶため、早期の実技授業の廃止は困難であると考え、中学校における水泳の授業のあり方について検討するものです。

2. 学校プールの現状について

学校プールについては、令和2年度から段階的に民間事業者のプール利用を進めており、現在は、西部中学校、門弟山小学校、藤里小学校の3校が民間事業者のプールで授業を行っています。

中学校のプール施設の現状は以下のとおりで、建設から20～25年で大規模改修工事を実施しており、新たな大規模改修工事が必要な時期になっています。

プール槽、プールサイド、循環ろ過器の老朽化が激しく、改修工事には多額の費用を要します。

- ・古知野中学校プール

建設年度 : 2009年度
改修履歴 : 履歴なし

- ・布袋中学校プール

建設年度 : 1975年度
改修履歴 : 1997年度（大規模改修）、2000年度（循環配管改修）

- ・宮田中学校プール

建設年度 : 1986年度
改修履歴 : 2011年度（大規模改修）

- ・北部中学校プール

建設年度 : 1975年度
改修履歴 : 2000年度（大規模改修）、2011年度（プールサイド改修）

- ・西部中学校プール

建設年度 : 1982年度
改修履歴 : 2002年度（大規模改修）



布袋中プール槽(防水劣化)

プールサイド(沈下、表層劣化)

プールサイド(ひび割れ)

3. 実技授業を廃止する場合のコスト削減効果

○今後も維持をするには、いずれの学校においても、大規模改修工事が必要な時期となっているため、現状の劣化状況に応じた工事内容から算出した概算の削減額は、以下のとおりです。

- ・古知野中学校 : 2,500 万円 (プール槽、プールサイド)
- ・布袋中学校 : 5,000 万円 (プール槽、プールサイド、ろ過機、循環配管)
- ・宮田中学校 : 3,500 万円 (プール槽、プールサイド、ろ過機)
- ・北部中学校 : 3,500 万円 (プール槽、プールサイド、ろ過機)

○民間プールを活用していた西部中学校に替わり、布袋北小学校が民間プールを活用することにより、布袋北小学校プールの大規模改修工事の金額が削減されます。

- ・布袋北小学校 : 3,500 万円 (プール槽、プールサイド、ろ過機)

○学校プール5校(中学校4校、小学校1校)の維持管理費(水道料、薬剤、保守委託、水質検査料、小修繕費)として、年間約800万円の削減となります。

以上のことから、例示として廃止後10年間の削減額は、約2億6,000万円になります。

4. スケジュール(別紙スケジュール(素案)参照)

実技授業を廃止する場合、早期に廃止する方が、コスト削減的には有利になりますが、学校、保護者、生徒の意向などを調査した上で、慎重に意思決定をする必要があります。

また、学校プールを使用している中学校4校では、水泳部が活動していることから、その影響等を考慮する必要があるとあり、各学校においては、令和8年度9月から始まる休日の部活動の地域展開を踏まえた、平日の部活動のあり方についても併せて検討する必要があると考えます。

意思決定の時期については、令和8年度の8月頃に開催予定の総合教育会議を目標として、今後検討を進めていきたいと考えています。

(参考資料)

県内自治体における中学校の水泳授業実施状況について(愛知県教育部課長会資料より)

○水泳の実技授業を廃止している自治体

- ・東海市 : 6校中2校で廃止(1校は民間委託)
- ・大府市 : 4校中4校で廃止
- ・愛西市 : 6校中1校で廃止
- ・北名古屋市 : 6校中6校で廃止(1年生のみ民間プールで実施)
- ・弥富市 : 2校中2校で廃止

尾張部自治体において、廃止済・廃止の方向性の自治体(尾張部都市教育長会議資料より)

○現在の学校プールが使用できなくなった場合、廃止する方針の自治体

- ・犬山市
- ・東海市(再掲)
- ・大府市(再掲)
- ・知多市
- ・豊明市
- ・愛西市(再掲)
- ・北名古屋市(再掲)
- ・弥富市(再掲)
- ・あま市
- ・長久手市